

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
AM35Z021		導入 (生物学) (Introduction (Biology))					導入教育科目 自然・科学	対面									
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
選択	1	1	医学部医学科	後期	水3	氏名 池田 八果穂 E-mail yatukaho@oita-u.ac.jp 内線 5609											
授業の概要	地球上の生物はこれまでに100万を超える種が記載され、その形や生活様式も非常にバラエティに富んでおり人間の生活に直接的あるいは間接的に関わるものも少なくない。このように多様な生物を比較して分類・整理することは生物学の基礎であり、また、生物進化の探究にもつながる。本講義では、主に動物を対象として、各分類群の体制・個体発生・生態などの生物学的知見を学び、系統分類学の視点から生物の多様性を考察する。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 生物の体制の進化と個体発生の概要を説明できる。																	
目標2 ヒトに害を及ぼす主な生物の分類と特徴について説明できる。																	
目標3 系統進化学的なヒトの位置づけについて説明できる。																	
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 生物の多様性																	
2 生物の命名と分類																	
3 進化の仕組み																	
4 原核細胞と真核細胞																	
5 原生動物																	
6 単細胞から多細胞へ																	
7 原始的な無脊椎動物																	
8 左右相称動物の体制																	
9 冠輪動物と脱皮動物																	
10 旧口動物と新口動物																	
11 脊索動物																	
12 進化の歴史																	
13 脊椎動物の進化																	
14 ヒトの進化																	
15 まとめ																	
ラーニング	A:知識の定着・確認	実物の標本を観察するなど授業中に学生に意見や説明を求める場面を設定する。					工夫	その	画像や動画の活用、LMS(Moodle)の活用								
ニ	B:意見の表現・交換																
ン	C:応用志向																
イ	D:知識の活用・創造																
ゲ																	
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	参考書などを利用して生物の進化と多様性について学習する(15hr)。															
	事後学修	配布資料や参考書を利用して復習し、身の回りの生物を観察して学習を深める(15hr)。															
教科書	教科書は指定しない。 授業の際に資料を配布する。																
参考書	藤田敏彦(著)『動物の系統分類と進化』裳華房、2010年、ISBN 9784785358426 カール・ジンマー(著)『進化 生命のたどる道』岩波書店、2012年、ISBN 9784000054676 小川和夫(監)、長谷川英男(著)『絵でわかる寄生虫の世界』講談社、2016年、ISBN 9784061547711																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	小テスト	20%															
	期末試験	80%															
注意事項																	
備考	先進医療科学科「生物II」と同時に授業を行う場合がある。																
リンク																	
	URL																